

ビタミン誌 論文レイアウト 1 (総説, 総合論文, 原著, ノート, 資料, 講座, ミニレビュー用)

(論文種別) **総説, 総合論文, 原著, ノート, 資料, 講座, ミニレビュー**

総説: ある研究分野の最近の進歩を概説的に述べたもので, 刷り上がり*13 ページ以内

総合論文: 著者の複数の原著論文の内容をまとめたもので, 刷り上がり 13 ページ以内

原著: 未発表の研究成果についての完結した論文で, 刷り上がり 7 ページ以内

ノート: 原著に準ずる内容であって, 新知見を報告するもので, 刷り上がり 4 ページ以内

資料: 著者の主観をはさまない研究成果, 統計資料等で, 刷り上がり 4 ページ以内

講座: 理論, 技術等の解説を行うもので, 刷り上がり*13 ページ以内

ミニレビュー: 関連した論文を一編にまとめたもので, 刷り上がり*7 ページ以内

*刷り上がり 1 ページ (24 字×46 行×2 段)

(和文タイトル) ○○○○**についての研究**

(和文所属)¹○○大学○○学部○○研究室, ²○○研究所○○部

(和文氏名) 日本 太郎¹, 京都 花子²

(英文タイトル) **Study of**

(英文氏名) Taro Nihon¹, Hanako Kyoto²

(英文所属)¹Department of , Faculty of , . . . University, Kyoto, 1-1, Japan

²Institute for , . . . Laboratory, Kyoto, 1-1, Japan

(英文抄録: 200 語以内)

(英文抄録に相当する和文)

(5 語の英文キーワード) **Key words:** vitamin B, protein,

(ランニングタイトル: 30 字以内)

(論文記載 (図表の掲載場所もわかるように))

(緒言, 実験方法, 実験結果, 考察, 結論, 謝辞, 文献の順に記載する.)

(引用文献: 文中に番号を上付けで付し, 最後にまとめて出所を記す. 複数引用する場合には, ⁵⁾⁶⁾⁹⁾あるいは ¹¹⁾⁻¹⁶⁾のように記載する.)

(利益相反状況の開示)

文 献

(全著者名, 発行年, タイトル, 誌名 (欧文誌はイタリック体), 巻 (太字), 初—終ページの順とし, 書籍もこれに準ずる)

(引用文献記載例).

1) Abcde H, Fghi (2006) Abnormal with dietarycobalamin deficiency. *J Nutr Sci Vitaminol* **52**, 168-173

2) Abcde H, Fghi (2006) "Vitamin K" in 'Biochemical, Physiological, Molecular Aspects of Human Nutrition' (2nded) ed by Stipanuk MH, pp. 797-818, Saunders, St Louis, MI (USA)

3) 日本 太郎, 京都 花子 (2006) ビタミン B₆糖誘導体の *ビタミン* **80**, 537-542

(1 ページ下段に)

連絡先住所:

E-mail:

ビタミン誌 論文レイアウト 2 (研究論文紹介)

(論文種別) 研究論文紹介

研究論文紹介：国内外の欧文誌 (JNSV は除く) に概ね過去 2 年以内に
発表された著者自身の原著 (投稿時に添付すること) を要約したもので、
刷り上がり *2 ~ 4 ページ以内
*刷り上がり 1 ページ (24 字 × 46 行 × 2 段)

(和文タイトル) ○○○ についての研究

(和文所属) ¹ ○○大学○○学部○○研究室, ² ○○研究所○○部

(和文氏名) 日本 太郎¹, 京都 花子²

(オリジナル論文)

(英文タイトル) **Study of**

(英文氏名) Taro Nihon¹, Hanako Kyoto²

(英文所属) ¹Department of , Faculty of , . . . University, Kyoto, 1-1, Japan
²Institute for , . . . Laboratory, Kyoto, 1-1, Japan

[英文誌掲載名 巻, ページ - ページ (西暦)]

(5 語の英文キーワード) **Key words:** vitamin B, protein, . . .

(論文記載 (図表の掲載場所もわかるように))

(引用文献：文中に番号を上付けで付し、最後にまとめて出所を記す。複数引用する場合には、⁵⁾⁶⁾⁹⁾あ
るいは¹¹⁾⁻¹⁶⁾のように記載する。)

(利益相反状況の開示)

文 献

(全著者名, 発行年, タイトル, 誌名 (欧文誌はイタリック体), 巻 (太字), 初—終ページの順とし, 書籍もこれに準ずる)

(引用文献記載例).

- 1) Abcde H, Fghi (2006) Abnormal with dietarycobalamin deficiency. *J Nutr Sci Vitaminol* **52**, 168-173
- 2) Abcde H, Fghi (2006) "Vitamin K" in 'Biochemical, Physiological, Molecular Aspects of Human Nutrition' (2nded) ed by Stipanuk MH, pp. 797-818, Saunders, St Louis, MI (USA)
- 3) 日本 太郎, 京都 花子 (2006) ビタミン B₆ 糖誘導体の *ビタミン* **80**, 537-542

(1 ページ下段に)

連絡先住所:

E-mail:

ビタミン誌 論文レイアウト 3 (症例報告, トピックス用)

(論文種別) 症例報告, トピックス

〔 症例報告: 教育的な症例, 示唆に富む症例を呈示するもので, 刷り上がり*2~4ページ以内
トピックス: 国内外の最近の重要な知見を簡潔にまとめて紹介するもので, 刷り上がり*2~6ページ以内
*刷り上がり 1 ページ (24 字× 46 行× 2 段) 〕

(和文タイトル)○○○に関する考察

(英文タイトル)Vitamin E

(論文記載 (図表の掲載場所もわかるように))

(引用文献: 文中に番号を上付けで付し, 最後にまとめて出所を記す. 複数引用する場合には, ⁵⁾⁶⁾⁹⁾あるいは ¹¹⁾⁻¹⁶⁾のように記載する.)

(5 語の英文キーワード) **Key Words:** vitamin E, protein, . . .

(英文所属) ¹Department of , Faculty of , . . . University, Kyoto, 1-1, Japan

²Institute for , . . . Laboratory, Kyoto, 1-1, Japan

(英文氏名) Taro Nihon¹, Hanako Kyoto²

(和文所属) ¹○○大学○○学部○○研究室, ²○○研究所○○部

(和文氏名) 日本 太郎¹, 京都 花子²

(利益相反状況の開示)

文 献

(全著者名, 発行年, タイトル, 誌名 (欧文誌はイタリック体), 巻 (太字), 初—終ページの順とし, 書籍もこれに準ずる)

(引用文献記載例).

1) Abcde H, Fghi (2006) Abnormal with dietarycobalamin deficiency. *J Nutr Sci Vitaminol* **52**, 168-173

2) Abcde H, Fghi (2006) "Vitamin K" in 'Biochemical, Physiological, Molecular Aspects of Human Nutrition' (2nded) ed by Stipanuk MH, pp. 797-818, Saunders, St Louis, MI (USA)

3) 日本 太郎, 京都 花子 (2006) ビタミン B₆ 糖誘導体の *ビタミン* **80**, 537-542